

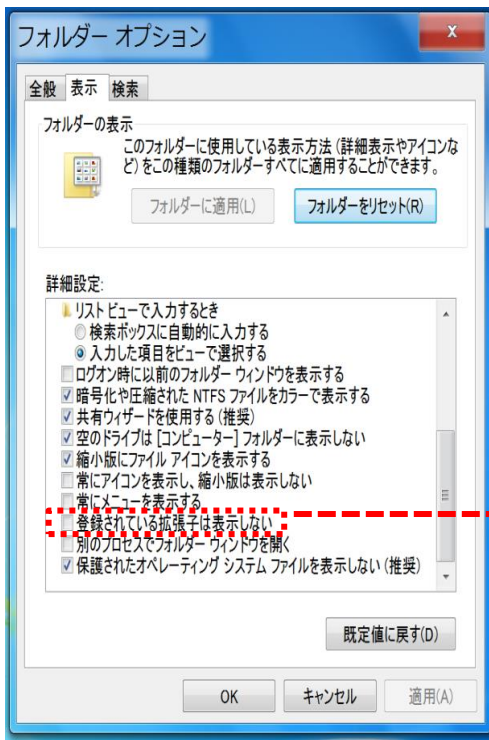
# 偽装ファイルへの対策「拡張子の確認」

拡張子とは、ファイルの末尾に付いている「. (ピリオド又はドット)」+「英数字」で表すファイルの種類を示し、「.doc(x)」、「.xls(x)」等があります。これがPCの画面に表示されていないと、偽装ファイルに潜む危険な拡張子（「.exe」等）が見えず、確認できないままクリックしてしまうリスクを高めることになります。

そこで対策！「拡張子を確認」しましょう  
Windows7の例:PCの「拡張子を表示させる」設定を活用～

## 設定方法

コントロールパネル→デスクトップのカスタマイズ→フォルダオプション  
→すべてのファイルとフォルダを表示



登録されている拡張子は表示しない

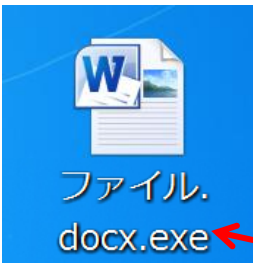
チェックあり



## × 拡張子が表示されず危険

一見すると、文書ファイルのアイコンであり、拡張子も「.docx」に見えます。でも拡張子は表示しない設定のはず・・・

チェックなし



## ○ 拡張子が表示されて安心

実はファイル名が「ファイル.docx」、拡張子は「.exe」であり、拡張子を偽装したファイルだとわかりました。

**.exe** これが拡張子

拡張子を表示させ、ファイルの種類を確認することで、危険なファイルを実行するリスクを軽減させることができます。

偽装されたファイルを見破るために、ファイルをクリックする前に拡張子を確認しましょう。

京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク (Ksisnet)  
IT 相談窓口 (公益財団法人京都産業21 お客様相談室)

相談内容：情報セキュリティ対策、情報漏えい・流出事案等  
※毎週月曜日～金曜日の9:00～17:00 (祝日を除く)

TEL 075-315-8660 メールアドレス okyaku@ki21.jp

公益財団法人京都産業21 お客様相談室 (〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内)

お困りの  
ときは!!